

表1 日本脳炎II期（小学校4年生中心）（空欄はデータなし）

	平成5年			平成6年			平成7年			平成8年		
	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率
広島市	34,798	25,819	134.8	33,357	25,156	132.6	5,946	38,406	15.5	5,210	37,284	14.0
福山市							2,884	4,506	64.0	2,879	4,506	63.9
呉市							580	2,049	28.3	195	1,911	10.2
東広島市	1,258	1,324	95.0				320	1,260	25.4	93	1,366	6.8
三原市												
尾道市							414	981	42.2	621	1,047	59.3
廿日市市							271	1,125	24.1	397	1,046	38.0
府中町				1,070	1,232	86.9	307	564	54.4	302	579	52.2
都市部合計	36,056	27,143	132.8	34,427	26,388	130.5	10,722	48,891	21.9	9,697	47,739	20.3
都市部以外合計	6,476	5,268	122.9	6,850	5,592	122.5	5,184	7,139	72.6	5,619	7,558	74.3
広島県全体	42,532	32,411	131.2	41,277	31,980	129.1	15,906	56,030	28.4	15,316	55,297	27.7

表2 二種(DT)混合（小学校6年生）

	平成5年			平成6年			平成7年			平成8年		
	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率
広島市	11,553	13,088	88.27	11,592	13,556	85.51	8,979	13,197	68.04	7,579	13,077	57.96
福山市	110	5,204	2.11	2,051	5,204	39.41	2,287	4,723	48.42	2,238	4,723	47.39
呉市	1,694	2,122	79.83	1,773	2,231	79.47	1,599	2,127	75.18	990	2,036	48.62
東広島市	1,245	1,200	103.75	1,143	1,358	84.17	1,245	1,406	88.55	1,279	1,382	92.55
三原市	747	967	77.25	872	1,056	82.58	386	983	39.27	302	913	33.08
尾道市				805	1,035	77.78	666	1,093	60.93	618	1,086	56.91
廿日市市	982	1,051	93.43	821	1,119	73.37	409	1,148	35.63	838	1,128	74.29
府中町	498	640	77.81	480	653	73.51	512	608	84.21	528	636	83.02
都市部合計	16,829	24,272	69.3	19,537	26,212	74.5	16,083	25,285	63.6	14,372	24,981	57.5
都市部以外合計	7,489	8,584	87.2	7,332	8,874	82.6	7,508	9,192	81.7	8,706	10,517	82.8
広島県全体	24,318	32,856	74.0	26,869	35,086	76.6	23,591	34,477	68.4	23,078	35,498	65.0

表3 日本脳炎III期（中学生）

	平成5年			平成6年			平成7年			平成8年		
	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率	接種者数	対象者数	接種率
広島市	12,972	28,006	46.3	12,588	27,376	46.0	2,095	12,997	16.1	1,958	13,459	14.5
福山市							1,220	4,836	25.2	1,341	4,836	27.7
呉市	10,392	10,425	99.7	10,263	10,004	102.6	87	2,101	4.1	25	2,213	1.1
東広島市	849	1,372	61.9	2,979	3,965	75.1	46	1,276	3.6	10	1,324	0.8
三原市	3,220	3,259	98.8	3,030	3,158	95.9	809	2,766	29.2	1,138	2,518	45.2
尾道市				4,036	3,171	127.3	141	1,178	12.0	276	1,149	24.0
廿日市市	2,440	3,001	81.3	2,359	2,926	80.6	39	963	4.0	89	1,011	8.8
府中町	1,756	2,444	71.8	603	1,224	49.3	159	591	26.9	64	569	11.2
都市部合計	31,629	48,507	65.2	35,858	51,824	69.2	4,596	26,708	17.2	4,901	27,079	18.1
都市部以外合計	17,620	22,933	76.8	16,361	20,671	79.1	7,317	13,939	52.5	6,082	12,976	46.9
広島県全体	49,249	71,440	68.9	52,219	72,495	72.0	11,913	40,647	29.3	10,983	40,055	27.4

表4 風疹（中学生）

	平成5年			平成6年			平成7年			平成8年		
	接種者数	対象者数	接種率									
広島市	4,304	6,839	62.9	3,915	6,484	60.4	5,245	38,991	13.5	2,541	40,377	6.3
福山市	1,318	2,694	48.9	1,431	2,694	53.1	1,269	4,836	26.2	1,195	4,836	24.7
呉市	539	1,247	43.2	460	1,212	38.0	818	2,101	38.9	348	2,213	15.7
東広島市	419	1,253	33.4	379	1,222	31.0	603	2,591	23.3	589	2,655	22.2
三原市							312	721	43.3	137	940	14.6
尾道市				275	1,205	22.8	410	2,318	17.7	424	2,167	19.6
廿日市市	391	918	42.6	432	946	45.7	124	1,933	6.4	396	1,968	20.1
府中町	133	267	49.8	134	269	49.8	200	1,731	11.6	83	1,708	4.9
都市部合計	7,104	13,218	53.7	7,026	14,032	50.1	8,981	55,222	16.3	5,713	56,864	10.0
都市部以外合計	3,354	5,748	58.4	3,328	5,716	58.2	7,933	14,460	54.9	5,134	14,353	35.8
広島県全体	10,458	18,966	55.1	10,354	19,748	52.4	16,914	69,682	24.3	10,847	71,217	15.2

## 三歳児健診における予防接種率

——鳥取県中部地区において——

山下麻理子、音田 誠一、奈良井 栄（鳥取県立厚生病院）

岡本 博文（岡本小児科医院）

白木 和夫（鳥取大学医学部小児科）

### 【目的】

3歳までの鳥取県中部地区における予防接種の接種状況を把握することを目的とした。

### 【対象及び方法】

対象：鳥取県中部地区の市町村の内、倉吉市、東郷町、北条町、大栄町、羽合町において、平成10年7月～8月に行われた3歳児健診受診者の、計87名。その時の健診対象者は計129名で、健診の受診率は67.4%であった。

方法：3歳児健診受診時に、母子手帳の記録より、2歳11ヶ月までの各予防接種の接種歴を1ヶ月単位で調査集計した。調査した予防接種の種類は、BCG、ポリオ、三種混合、麻疹、風疹の5項目であり、その中でBCGとポリオは集団接種、残り3項目は個別接種で行われていた。

### 【結果】

BCG、ポリオ、三種混合、麻疹、風疹の集計結果を図1～図5に示す。縦軸は累積接種率、横軸は月齢を表す。

BCG（図1）では、生後3ヶ月から接種が始まり、1歳2ヶ月で80%の接種率を示し、2歳11ヶ月の時点では96.6%と高い接種率であった。ポリオ（図2）では、1回目については、生後3ヶ月から接種が始まり、9ヶ月で82%、2歳11ヶ月で97.7%であった。2回目については4ヶ月から接種が始まっている、1歳4ヶ月で85%、2歳11ヶ月では94.3%と、1回目2回目ともに高い接種率であった。三種混合（図3）では、接種開始は、1期1回目が3ヶ月、2回目が5ヶ月、3回目が6ヶ月、1期追加が1歳3ヶ月であった。80%以上の児が接種した時期については、1期1回目が1歳5ヶ月、2回目が1歳10ヶ月、3回目が2歳2ヶ月であった。2歳11ヶ月では、1期1回目が93.1%、2回目が92.0%、3回目が88.5%と比較的高い値であったが、1期追加は64.4%と低い接種率であった。麻疹（図4）の接種開始時期は生後9ヶ月であり、2才5ヶ月で80%、2歳11ヶ月で85%の接種率であった。風疹（図5）では、接種開始時期は1歳1ヶ月であり、2歳11ヶ月では62.0%と低い接種率であった。

### 【考案】

今回の結果では、2歳1ヶ月までの累積予防接種率は、風疹と三種混合1期追加が60%台と低く、その他は85%以上と比較的高い値であった。これは、第8回外来小児科学研究会での「予防接種率からみた予防接種の現状とこれから」の結果でも同様の傾向がみられており、今回の対象地区に特徴的なことではないと考えた。風疹が低い理由としては、接種年齢の移行に関する情報が不足していることや、乳幼児期に重症化しやすい麻疹や百日咳のワクチンを優先する傾向があることなどが考えられた。3種混合については、1期初回の3回はほぼ平行に接種率が経過しているのに対し、1期追加では生後30ヶ月頃よりほぼ横ばいになっており、今後の接種率の伸び悩み、しいては、2期の接種率の低下が懸念された。3歳までは、乳幼児健診での予防接種を促す機会があったが、3歳以降ではなく、予防接種に対する意識が少なくなる可能性があり、予防接種率がこのまま増加しない可能性もある。3歳以降の接種率がこのまま伸び悩むのであれば、3歳以降に予定されている日本脳炎の接種率も低くなるかもしれない。3歳児以降の予防接種率の経過を知るために、今後の課題として、小学校入学時の予防接種率の把握が重要であると考えられた。

図1 BCG

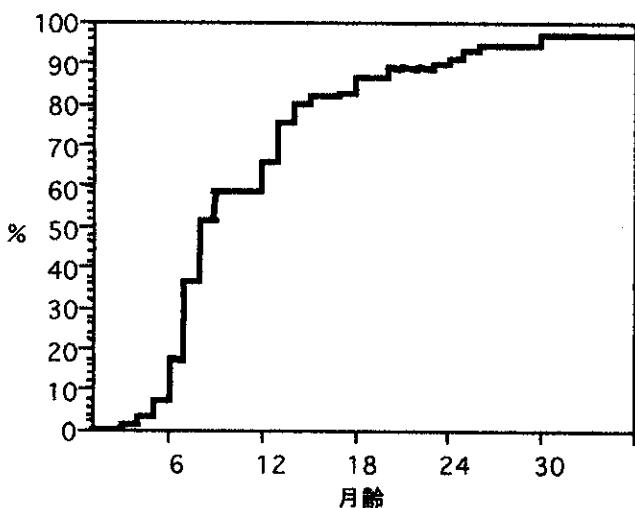


図2 ポリオ

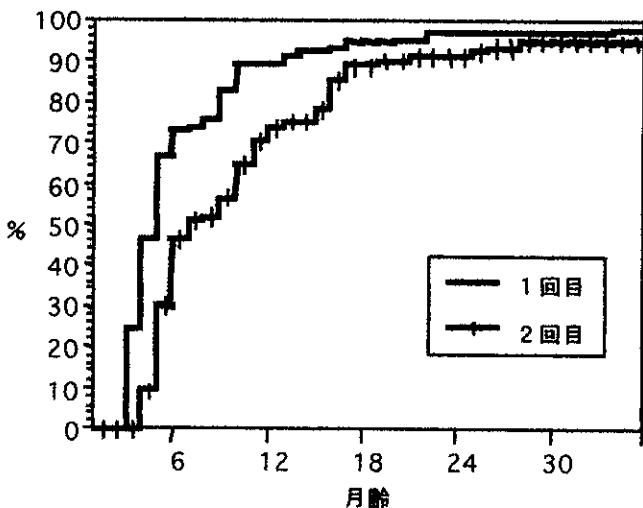


図3 三種混合

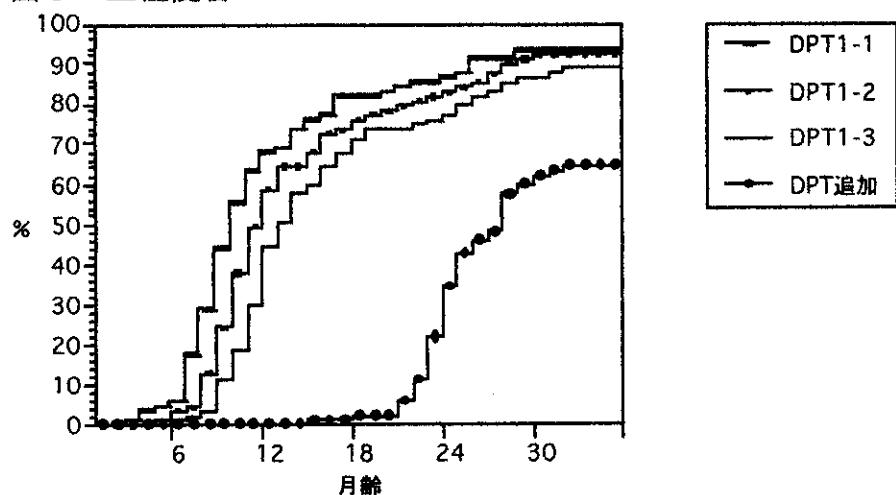


図4 麻疹

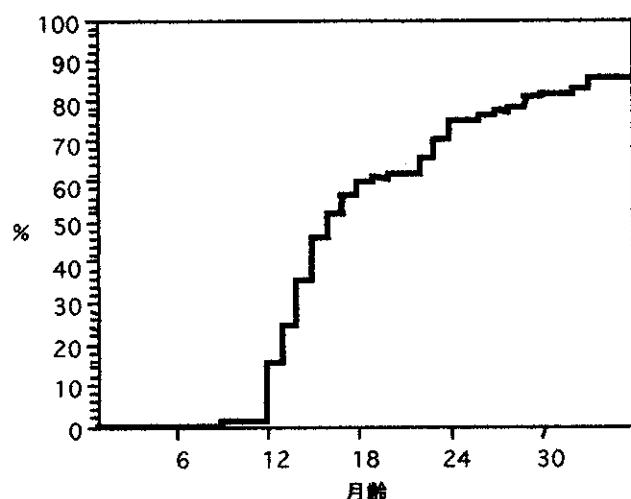
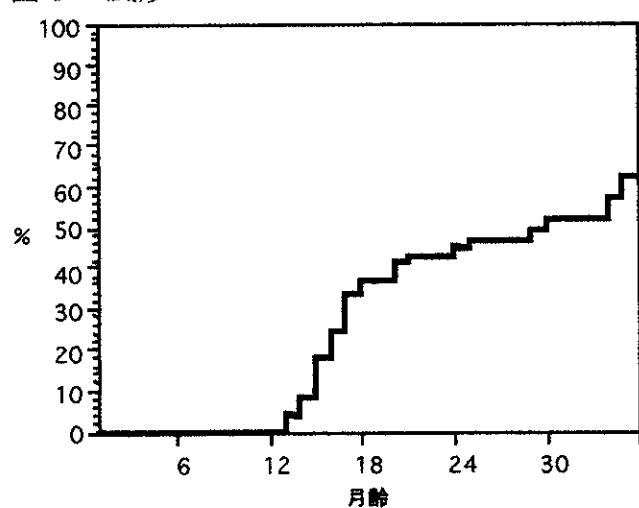


図5 風疹



(今回のデータは、第8回外来小児科学研究会での「予防接種率からみた予防接種の現状とこれから」で岡本博文が報告したものである)

# 集団接種から個別接種への変更による 徳島市における風疹ワクチンの接種率の変化

黒田泰弘、伊藤道徳（徳島大学小児科）

## 【研究目的】

予防接種法の改正により、中学生女子を対象として集団接種で行われてきた風疹ワクチンが個別接種となり、その接種率の低下が指摘されている。徳島市においてもこれまで学校で集団接種として行ってきた中学2年生女子を対象とした風疹ワクチンが、平成7年度より個別接種に変更となった。この個別接種では、幼児を対象としているが、移行期間では小学生および中学生も対象となっている。今回、この変更による徳島市における風疹ワクチンの接種率の変化を明らかにするために、集団接種であった平成2年～平成6年度と個別接種となった平成7年～平成8年度の風疹ワクチンの接種率を比較検討した。

## 【対象および方法】

徳島市での平成2年度から平成10年度の風疹ワクチン接種対象者およびこのうち風疹ワクチンの接種を受けたものを集計し、接種率を算出した。

## 【結果】

表に示すように、平成2年から平成6年度までの中学2年女子を対象とした集団接種での風疹ワクチンの接種率は、ほぼ85%以上を維持していた。しかし、個別接種となった平成7年度以降の中学生女児の接種率は28.4～44.9%と著明に低下していた。小学生を対象とした風疹ワクチンの接種率は中学2年生女子よりも低く、25.7～37.3%であった。1歳児を対象とした幼児では接種方法が変更された平成7年度は38.4%と非常に接種率が低かったが、その後平成8年度には65.6%，平成9年度は81.9%と接種率の増加が認められている。平成10年度は12月までの集計で69.1%であり、今後の接種者数を考えると平成9年度とほぼ同程度の接種率になるものと考えられる。

## 【考察】

これまで先天性風疹症候群の発生を予防する目的で中学生女子を対象とした風疹ワクチンの接種が行われていたが、今回の予防接種法の改正により風疹ワクチン接種が集団接種から個別接種へと変更になり、中学生女子における接種率の低下が各地域で指摘されている。徳島市においても集団接種時には85%以上の接種率であったものが、個別接種へ変更された平成7年度では風疹ワクチンの接種率は中学2年生女児だけでなく対象となった全年齢層で著明に低下していた。その後、幼児の風疹ワクチン接種率は増加し、80%程度になってきているが、小学生・中学生の接種率は低値のままである。今後も個別接種によるこの年代の接種率の低値が続いた場合、この年代における抗体保有率が低下し、目的とした風疹流行の予防効果も不十分なまま経過し、風疹流行による先天風疹

症候群の発生頻度が高くなる危険性も大きい。このため、これらの年代に対する再度の風疹ワクチン接種の機会を作るとともに、その重要性をあらためて周知徹底させることが必要である。また、平成7・8年度においては幼児の接種率も低いためこの年度の幼児接種対象者についても再度接種の呼びかけを行うことも必要である。

表：風疹ワクチン接種率

年 度	対象者	該当者数(人)	接種者数(人)	接種率(%)
<b>集団接種</b>				
平成2年度	中学2年女子	1,399	1,261	90.1
平成3年度	中学2年女子	1,395	1,303	93.4
平成4年度	中学2年女子	1,424	1,203	84.5
平成5年度	中学2年女子	1,521	1,309	86.1
平成6年度	中学2年女子	1,558	1,374	88.2
<b>個別接種</b>				
平成7年度	幼児	2,372	912	38.4
	小学生 <sup>1)</sup>	4,555	1,513	37.3
	中学2年男女、中学3年男子	4,786	857	17.9
	(中学2年女子)	1,527	434	28.4 )
平成8年度	幼児	2,654	1,741	65.6
	小学生 <sup>2)</sup>	2,740	704	25.7
	中学2年男女	3,166	1,231	38.9
	(中学2年女子)	1,572	712	45.3 )
平成9年度	幼児	2,606	2,135	81.9
	小学生 <sup>2)</sup>	2,696	824	30.4
	中学2年男女	3,225	1,248	38.7
	(中学2年女子)	1,624	729	44.9 )
平成10年度 <sup>3)</sup>	幼児	2,315	1,600	69.1
	小学生 <sup>2)</sup>	2,599	752	28.9
	中学2年男女	3,066	1,106	36.1
	(中学2年女子)	14,96	641	42.8 )

1) 小学校1、2年生で生後90カ月以下の者

2) 小学校1年生で生後90カ月以下の者

3) 平成10年度は平成10年4月1日～平成10年12月31日までの接種者数

## 福岡市内小学校3年生における予防接種率調査（中間報告）

宮崎 千明（福岡市立あゆみ学園・心身障害福祉センター）

植田 浩司、瀬川和子（西南女学院大学保健福祉学科）

岡田 賢司（国立療養所南福岡病院）

福重淳一郎（九州大学医療技術短期大学部）

松本 寿通、後藤 元継、下村 国寿、財津 正博（福岡地区小児科医会）

### 【はじめに】

小児の予防接種率を正確に把握することは、感染症対策、とりわけ予防接種戦略を立てる上で極めて重要である。従来、定期接種対象ワクチンについては、被接種者数を接種対象者数で除した数値が行政的に発表されているが、接種対象者数の把握に問題があり、必ずしも実状を反映しない点が指摘されてきた。

予防接種率のもうひとつの算定方法は、ある年齢までに接種を受けたものの率（到達度）で表す方法である。今回、福岡地区小児科医会の協力を得て、主な定期接種ワクチンの接種対象年齢である90か月を越えた福岡市内の小学校3年生を対象にアンケート調査を行ったので報告する。

### 【目的】

小児の予防接種率を到達度（既接種率）で算定する。

### 【対象と方法】

福岡地区小児科医会の会員が学校医を務める福岡市内の小学校に対して、保護者に対する予防接種歴のアンケート調査協力を依頼した。協力の得られた40校の小学校3年生の全員にアンケート調査を配布し、BCG、DPT、ポリオ、MMR、麻疹、風疹、ムンプス、水痘、日脳、インフルエンザについて、母子手帳に基づき保護者に接種日を記載していただき回収した。

### 【結果】

アンケート調査結果を表に示した。各ワクチンごとの数値はいずれも、母子手帳保持が確認された2,659人（表では「母子手帳」と表示した欄）を分母とし、接種時期が確定できた接種者数を分子として、小学校3年生における既接種率を算定した。配布したアンケート調査票数3,977枚、および回収できた票数2,752枚を分母とした率も求め、表の欄外に示した。

#### 1. 回収率と母子手帳保持率

40校、3,977人に用紙を配布し、2,752枚（69.2%）が回収された。そのうちの2,609

人（96.6%）が母子手帳を保持していた。

## 2. 各ワクチンの既接種率

母子手帳保持が確認された例における接種率は以下の通りであった。

- 1) BCGの接種を1回でも受けた者は98.1%であった。
- 2) DPTの接種を3回以上受けた者は91.8%の既接種率であった。
- 3) ポリオの接種を2回以上受けた者は90.2%であった。
- 5) 日本脳炎ワクチンの接種を3回以上接種を受けた者は67.9%であった。
- 4) MMRワクチンとして69.6%、麻疹単味ワクチン20.3%、風疹単味ワクチン9.7%、ムンプス単味ワクチン6.0%の既接種率であったが、MMRワクチンと単味ワクチンを合わせた率では、麻疹、風疹、ムンプスワクチンの既接種率は、それぞれ、89.6%、79.0%、75.3%であった。
- 6) 水痘の既接種率は12.5%であった。
- 7) インフルエンザについては極めて接種が少なかったため、今回の集計からは除外した。

接種が確認できなかった者のワクチン接種歴が上記の到達条件を満たさないと仮定し、回収総数2,752枚、または、配布票数を3,977枚を母数とする率を計算すると、接種率は表の欄外に示すような結果であった。

### 【考案】

今回の調査では、母子手帳に基づいて接種日を記載していただくことで調査の正確を期した。また、年間の被接種者を接種対象者数で除する方法ではなく、ある年齢（今回は主な定期接種ワクチンの対象月齢である9ヶ月を越えた小学校3年生）における既接種率を算定した。調査時期がインフルエンザの流行と重なったこともあり、回収率が70%をわずかに下回る結果となった。

まず、回収されなかつた調査票数(1,225)や母子手帳不所持者(93)の接種率が、母子手帳保持が確認された調査票と同じ接種率を示すと仮定し、母子手帳保持が確認された2,659枚を母数として既接種率を計算した。

その結果、BCG（1回以上）、DPT（3回以上）、ポリオ（2回以上）についてはいずれも90%を越える高い既接種率を示し、麻疹についても89.6%が接種を受けていた。この学年は平成元年生まれが多く、MMRワクチン接種を受けた出生コホート群であり、風疹、ムンプスとも70%を越える接種率が得られた。MMRワクチンの導入がこれら3疾患の予防接種率を向上させるのに極めて効果的であることが示された。

今回は小学校3年生の1ポイントでの既接種率を算定したが、接種日が明らかにされているので、2歳や3歳などにおける到達度もみることができる。それにより、感染症疫学上接種を受けることが勧められる年齢において、どの程度の小児がワクチンを受けているかが明確になり、感染症サーベイランス情報と合わせることにより、国や市町村レベルで予防接種対策（戦略）を立てやすくなると考えられる。

最終報告では経時的な接種率の上昇を報告する予定である。

表. 福岡市内の小学校3年生における予防接種達成率(既接種率)

学校	配布数	回収数	母子手帳	BCG	DPT	ポリオ	白脳	MMR	麻疹	風疹	ムンプス	水痘
1	139	108	103	102	90	94	60	63	34	15	6	5
2	107	82	81	81	71	69	45	47	21	7	3	11
3	40	17	17	14	15	14	11	10	5	0	0	1
4	81	39	38	38	34	30	24	20	3	2	1	2
5	81	53	50	50	46	46	32	34	9	4	4	5
6	107	79	75	73	66	66	51	47	16	13	7	11
7	118	75	72	70	67	66	50	48	14	5	5	7
8	29	25	21	20	18	20	13	12	5	3	0	0
9	131	77	76	73	74	74	56	56	19	10	8	19
10	140	112	110	110	103	101	79	74	31	16	9	20
11	112	87	84	84	78	76	60	61	17	6	5	13
12	111	90	86	86	83	83	60	60	20	9	4	10
13	70	31	30	30	28	27	20	25	3	3	0	1
14	107	81	77	75	67	68	53	62	6	4	1	14
15	73	70	68	67	63	63	44	52	8	4	3	9
16	142	89	87	86	81	78	57	64	15	8	4	11
17	80	51	47	45	36	37	25	23	14	3	3	6
18	120	108	102	101	90	87	71	80	13	7	1	12
19	55	39	38	37	32	34	26	29	6	4	2	6
20	66	41	41	39	38	38	31	28	9	7	2	5
21	116	71	70	68	64	65	53	57	7	3	3	5
22	120	62	57	55	53	54	43	45	9	8	0	5
23	43	34	33	33	33	31	26	24	6	3	3	7
24	92	62	60	60	59	59	43	36	20	11	9	12
25	91	63	63	61	57	55	44	42	14	4	2	6
26	100	53	50	50	45	44	27	40	8	4	0	4
27	135	101	98	97	90	86	63	69	17	7	11	15
28	40	28	26	26	24	25	17	16	6	4	1	1
29	19	17	17	17	16	16	12	9	7	0	0	0
30	142	103	101	98	91	88	74	73	16	5	7	8
31	156	138	135	130	128	114	86	90	30	12	10	17
32	83	46	44	44	43	42	30	33	7	2	0	5
33	89	70	68	67	64	68	51	43	20	14	8	10
34	80	69	68	64	59	57	45	49	10	7	6	5
35	110	54	53	51	51	49	31	36	13	1	2	4
36	140	101	99	98	88	86	63	65	20	14	11	22
37	150	103	100	100	94	90	78	67	21	13	9	17
38	147	90	89	87	85	82	66	66	16	9	8	13
39	80	53	50	49	46	47	34	32	14	2	1	2
40	135	80	75	73	70	70	52	55	11	6	0	6
合計	3977	2752	2659	2609	2440	2399	1806	1842	540	259	159	332
率		69.2%	96.6%	98.1%	91.8%	90.2%	67.9%	69.3%	20.3%	9.7%	6.0%	12.5%
									89.6%	79.0%	75.3%	

2752を母数として計算

94.8%	88.7%	87.2%	65.6%	66.9%	19.6%	9.4%	5.8%	12.1%
						86.5%	76.3%	72.7%

3977を母数として計算

65.6%	61.4%	60.3%	45.4%	46.3%	13.6%	6.5%	4.0%	8.3%
						59.9%	52.8%	50.3%

## 注

- 1) BCG : 1回以上接種を受けた児童の数をあげた。
- 2) DPT : 3回以上接種を受けた児童の数をあげた。
- 3) ポリオ : 2回以上接種を受けた児童の数をあげた。
- 4) 日本脳炎 : 3回以上接種を受けた児童の数をあげた。
- 5) 麻疹、ムンプス、風疹 : 各単味ワクチン接種率を上段に、MMRワクチンを含めた接種率を下段に示した。
- 6) 配布数は、各小学校の3年生の児童数を示した。
- 7) 回収率 : 回収数/配布数
- 8) 母子手帳保持率 : 母子手帳保持者/回収数
- 9) 予防接種率 : 既接種者数/母子手帳保持者

V. 班 員 名 簿

# 厚生省予防接種研究班班員名簿

1999年3月

## 主任研究者

竹中浩治 (財)予防接種リサーチセンター 〒160-0022 新宿区新宿1-29-8公衛ビル内

## 研究企画委員

村田良介	〒156-0041 世田谷区大原1-10-11
芦原義守	〒166-0001 杉並区阿佐谷北4-9-18-405
植田浩司	〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1-3-5
大谷 明	〒152-0033 目黒区大岡山1-18-5
川名林治	〒020-0121 盛岡市月ヶ丘1-11-6
木村三生夫	〒154-0003 世田谷区野沢4-10-24
水原春郎	〒167-0053 杉並区西荻窪南4-18-7
矢田純一	〒113-0034 文京区湯島1-5-45
柳川 洋	〒329-0431 栃木県河内郡南河内町大字薬師寺3311-1
山崎修道	〒162-0052 新宿区戸山1-23-1

## 分担研究者

平山宗宏	日本子ども家庭総合研究所 〒106-8580 港区南麻布5-6-8
井上 栄	国立感染研 感染症情報センター 〒162-0052 新宿区戸山1-23-1
千葉峻三	札幌医科大学小児科 〒060-0061 札幌市中央区南1条西17丁目
神谷 齊	国立療養所三重病院 〒514-0125 津市大里窪田町357
磯村思无	名古屋大学大学院医学研究科 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

## 研究協力者

堺 春美	東海大学医学部小児科 〒259-1100 伊勢原市望星台
富樫武弘	札幌市立札幌病院小児科 〒060-0011 札幌市中央区北11条西13-1-1
前川喜平	東京慈恵会医科大学小児科 〒105-0003 港区西新橋3-25-8
宮崎千明	福岡市立心身障害福祉センター 〒810-0072 福岡市中央区長浜1-2-8
角田 行	仙台市太白区保健福祉センター 〒982-0012 仙台市太白区長町南3-1-15

## 研究班員

小林邦彦	北海道大学医学部 〒060-0815 札幌市北区北15条西7丁目
横山 雄	弘前大学医学部 〒036-8216 弘前市在府町5
須藤恒久	秋田衛生科学研究所 〒010-0874 秋田市千秋久保田町6-6
坂本美千代	市立病院済生館小児科 〒990-0042 山形市七日町1-3-26
鈴木 仁	福島県立医科大学 〒960-1295 福島市光が丘1
桃井富士麿	福島県医師会 〒960-8003 福島市森合丹波谷池28-16
太神和広	太田西ノ内病院小児科 〒963-8022 郡山市西ノ内2-5-20
平野岳毅	茨城県立こども病院 〒311-4145 水戸市双葉台3-3-1
森川昭廣	群馬大学医学部 〒371-0034 前橋市昭和町3-39-22
村田欣哉	群馬県医師会 〒371-0022 前橋市千代田町1-7-4メティカルセンター
丸山健一	県立小児医療センター 〒377-0061 勢多郡北橘村下箱田779
大川秀明	前橋市医師会 〒371-0014 前橋市朝日町4-9-5
平岩幹男	戸田市立健康管理センター 〒335-0037 戸田市下笹目2408
瀬端秀宜	浦和市医師会 〒336-0013 浦和市東岸町3-11
市村 博	千葉県衛生研究所 〒280-0801 千葉市中央区仁戸名町666-2
堀内 清	千葉県血清研究所 〒272-0827 市川市国府台2-6-1
阿部敏明	帝京大学医学部 〒173-0003 板橋区加賀2-11-1
飯倉洋治	昭和大学医学部 〒142-0064 品川区旗の台1-5-8
倉田 毅	国立感染症研究所 〒162-0052 新宿区戸山1-23-1
高山直秀	都立駒込病院 〒113-0021 文京区本駒込3-18-2
松尾宣武	慶應義塾大学医学部 〒160-0016 新宿区信濃町35
牛島廣治	東京大学医学部 〒113-0033 文京区本郷7-3-1
向後俊昭	日本医科大学 〒206-0025 多摩市永山1-7-1
中山哲夫	北里研究所ウイルス部 〒108-0072 港区白金5-9-1

山本光興	北多摩医師会	〒185-0012 国分寺市本町1-7-3
岡 秀	田園調布中央総合病院	〒145-0071 大田区田園調布2-43-15
杉下知子	東京大学医学部家族看護学	〒113-0033 文京区本郷7-3-1
橋爪 壮	日本ポリオ研究所	〒189-0003 東村山市久米川町5-34-4
中川久雄	細菌製剤協会	〒162-0821 新宿区津久戸町3-11THビル9階
武内可尚	川崎市立川崎病院	〒210-0013 川崎市川崎区新川通12-1
横田俊平	横浜市立大学医学部	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9
加藤達夫	聖マリアンナ医大横浜西部病院	〒245-0811 横浜市旭区矢指町1197-1
内山 聖	新潟大学医学部小児科	〒951-8122 新潟市旭町通1番地757
館 一矩	県予防接種対策協議会	〒939-8222 富山市蟾川336
大木徹郎	県立中央病院小児科	〒920-0064 金沢市南新保町又153
春木伸一	福井県立病院小児科	〒910-0846 福井市四ツ井2-8-1
小宮山 淳	信州大学医学部小児科	〒390-0802 松本市旭104
松岡伊津夫	長野県医師会	〒390-0002 松本市芳野11-6 松本医院
近藤直実	岐阜大学医学部小児科	〒500-8076 岐阜市司町40
吉田隆實	県立子ども病院感染免疫科	〒420-0953 静岡市漆山860
浅野喜造	藤田学園保健衛生大学小児科	〒470-1101 豊明市沓掛町楽ヶ窪1-98
尾崎隆男	愛知県厚生連昭和病院	〒483-8202 江南市野白町野白46
森島恒雄	名古屋大学医学部小児科	〒466-0065 名古屋市昭和区鶴舞町65
和田義郎	名古屋市立大学医学部小児科	〒467-0001 名古屋市瑞穂区瑞穂町川澄
桜井 実	三重大学医学部小児科	〒514-0001 津市江戸橋2-174
高田 洋	大津市民病院小児科	〒520-0804 大津市本宮2-9-9
澤田 淳	京都府立医大小児科	〒602-0840 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町
竹内宏一	竹内小児科医院	〒615-0812 京都市右京区西京極大門町16-27
西野正人	奈良県立三室病院小児科	〒636-0802 奈良県生駒郡三郷町三室1-14-16
上田重晴	大阪大学微生物病研究所	〒565-0871 吹田市山田丘3-1
岡田伸太郎	大阪大学小児科	〒565-0871 吹田市山田丘3-1
奥野良信	大阪府立公衆衛生研究所	〒537-0025 大阪市東成区中道1-3-69
山西弘一	大阪大学医学部細菌学	〒530-0005 大阪市北区中之島4-3-57
馬場宏一	大阪府医師会	〒571-0046 門真市本町43-38 ばば小児科
玉木健雄	県立こども病院	〒654-0068 神戸市須磨区西須磨高倉台1-1-1
小池通夫	和歌山県立医大小児科	〒641-0012 和歌山市紀三井寺811-1
奈良井 栄	県立厚生病院	〒682-0804 倉吉市東昭和町150
白木和夫	鳥取大学医学部小児科	〒683-0826 米子市西町86
泉 信夫	島根医科大学小児科	〒693-0021 出雲市塩冶町89-1
国富泰二	岡山赤十字病院小児科	〒700-0941 岡山市青江65-1
上田一博	広島大学医学部小児科	〒734-0037 広島市南区霞町1-2-3
古川 漸	山口大学医学部小児科	〒755-0067 宇部市西区小串1144
池永利秋	武田薬品光工場生物製剤部	〒743-0011 光市光井字武田4720
黒田泰弘	徳島大学医学部小児科	〒770-0042 徳島市蔵本町3-18-15
関口隆憲	高松赤十字病院	〒760-0017 高松市番町5-1-3
永井崇雄	香川県医師会	〒760-0002 高松市茜町2-20 永井小児科
貫田嘉一	愛媛大学医学部小児科	〒791-0204 愛媛県温泉郡重信大字志津川
小倉英郎	国立療養所東高知病院	〒781-0111 高知市池65
倉繁隆信	高知大学医学部小児科	〒783-0043 南国市岡豊町小連
青木知信	市立こども病院感染症センター	〒810-0063 福岡市中央区唐人町2-5-1
布上 薫	中村学園大学	〒814-0104 福岡市城南区別府5-7-1
原 寿郎	九州大学医学部	〒812-0054 福岡市東区馬出3-1-1
広瀬瑞夫	佐賀県医師会	〒840-0833 佐賀市中の小路8-20
辻 芳郎	長崎大学医学部小児科	〒852-8102 長崎市坂本12-4
入部謙繁	熊本市立熊本市民病院	〒862-0909 熊本市湖東1-1-60
松田一郎	熊本大学医学部小児科	〒860-0811 熊本市本庄2-2-1
泉 達郎	大分医科大学小児科	〒879-5503 大分郡挾間町医大ヶ丘1-1506
浜田恵亮	宮崎県立病院小児科	〒880-0003 宮崎市高松町5-30
宮田晃一郎	鹿児島大学医学部小児科	〒890-0074 鹿児島市宇宿町1208-1
我那霸 仁	沖縄県立中央病院小児科	〒904-2243 沖縄県具志川市宮里208-3

### 日本医師会ブロック班員

浜上裕一 北海道医師会  
師 研也 宮城県医師会  
二瓶惇二 山形市医師会  
湯藤 進 東京都医師会  
福田睦夫 茨城県小児科医  
松本幸三 栃木県医師会  
武井治郎 山梨県医師会  
阿部恒保 浦和市医師会  
谷口正明 愛知県医師会  
西川二郎 石川県医師会  
杉田隆博 大阪府医師会  
春田恒和 神戸市立中央市民病院  
森 洋一 京都府医師会  
古川一郎 徳島県医師会  
鈴木英太郎 鈴木小児科病院  
出口雅経 大村市医師会  
平野義人 福岡県医師会

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目  
〒980-0805 仙台市大手町1-5  
〒990-2432 山形市香澄町2-9-19  
〒101-0062 千代田区神田駿河台2-5  
〒300-0053 土浦市真鍋新町11-7  
〒320-8508 宇都宮市駒井町3337-1  
〒400-8651 甲府市丸の内2-32-11  
〒336-0001 浦和市常盤6-4-18  
〒460-0008 名古屋市中区栄4-14-28  
〒920-8660 金沢市大手町3-21  
〒543-8935 大阪市天王寺区上本町2-1-22  
〒650-0004 神戸市中央区中山手通6-1-30  
〒604-8586 京都市中京区壬生東高田町1-9  
〒770-8565 徳島市幸町3丁目61番地  
〒755-0151 宇部市西岐波区沢波3528-10  
〒852-8104 長崎市茂里町8-27  
〒812-8561 福岡市博多区博多駅南2-9-30

### 顧問

石田名香雄  
大国英和  
喜多村 勇  
宍戸 亮  
嶋田和正  
鈴木 榮  
高橋理明  
中村泰三  
西脇宗一  
福見秀雄  
松本修三  
南谷幹夫  
村上勝美  
山本一哉  
渡辺悌吉  
渡辺言夫

〒980-0874 仙台市青葉区角五郎1-5-40  
〒658-0001 神戸市東灘区森北町7-20-24  
〒700-0815 岡山市野田屋町1-5-7  
〒154-0014 世田谷区新町2-12-7  
〒201-0012 狛江市中和泉1-16-12  
〒458-0013 名古屋市緑区ほら貝1-462  
〒565-0871 吹田市山田丘3-1  
〒335-0004 蕨市中央4-4-12  
〒195-0053 町田市能ヶ谷619-27  
〒157-0066 世田谷区成城4-10-13  
〒060-0007 札幌市中央区北七条西14,B-205  
〒158-0081 世田谷区深沢3-28-21  
〒177-0042 練馬区下石神井3-24-9  
〒106-8580 港区南麻布5-6-8  
〒151-0053 渋谷区代々木4-22-2-507  
〒270-1514 印旛郡栄町酒直台1-28-3

### 班友

岡 成寛  
石川和夫  
稻葉美佐子  
植地正文  
喜多村哲朗  
木村慶子  
近藤俊夫  
曾田研二  
田原 晓  
手嶋力男  
日暮 真  
町田裕一  
村岡徹二  
山下和予  
横山 宏

長野県立阿南病院小児科  
石川こどもクリニック  
  
香川県立中央病院  
慶應義塾大学保健管理センター  
近藤小児科  
横浜市総合保健医療センター  
山口県小児科医会  
浦和医師会  
東京家政大学  
希望の家療育病院  
村岡小児科医院  
国立感染症研究所  
山梨県赤十字血液センター

〒399-1501 下伊那郡阿南町北条2009-1  
〒373 太田市高林2094-8  
〒275-0027 習志野市谷津町3-224  
〒251-0026 藤沢市鵠沼東2-1-609  
〒760-0017 高松市番町5-4-16  
〒223-0061 横浜市港北区日吉4-1-1  
〒560-0046 豊中市千里園2-1-83  
〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1753  
〒753-0074 山口市中央3-7-7  
〒336-0023 浦和市神明2-21-15  
〒173-8602 板橋区加賀1-18-1  
〒376-0101 群馬県山田郡大間々町大字大間々  
〒583-0027 藤井寺市岡1-15-29  
〒162-0052 新宿区戸山1-23-1  
〒400-0062 甲府市池田1-6-1